

バイオマス取組事例概要

北海道

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 農村振興局長賞)

・応募主体 株式会社アレフ

・都道府県・市町村 北海道札幌市

・取組分野 堆肥化、BDF等燃料

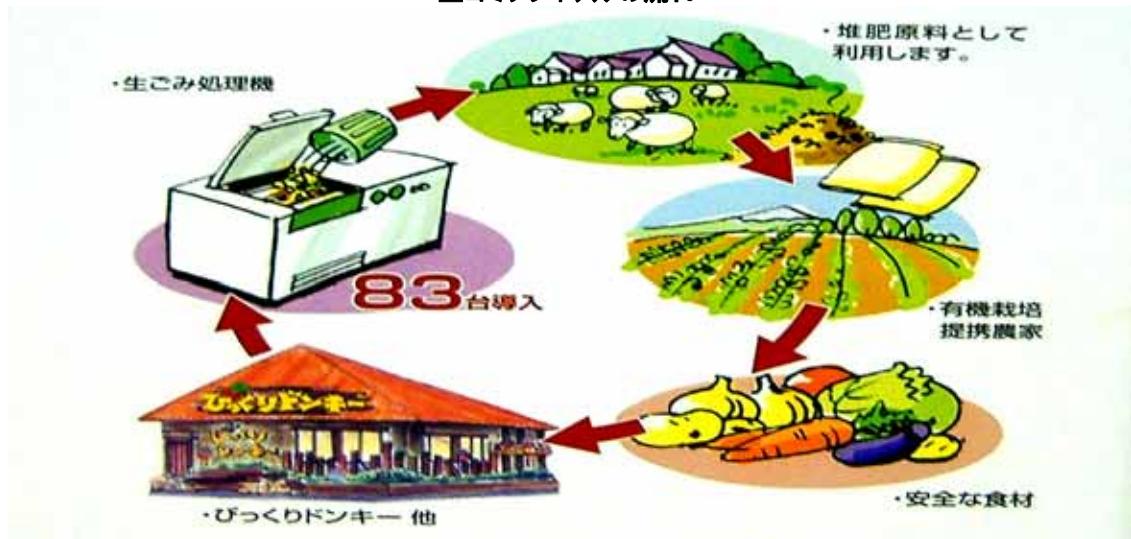
取組概要

外食店舗食品残渣を各店舗設置の生ゴミ処理機で一次処理し、協力農家とのネットワークにより堆肥化・利用。廃食用油のBDF燃料化を開始。

全国に展開する直営外食店舗136店舗（びっくりドンキー等、加工場も一部含む）のうち88店舗において、排出される食品残渣(2060t/年)を、店舗設置型の「生ゴミ処理機」を行い、1次処理として分解発酵処理させた後、取り組みに賛同する各地域の牧場・農家に提供し完熟堆肥の生産(3010t/年)に利用。その堆肥を利用して生産された農産物の一部を食材として利用。

また、ナタネを植え、搾油した食用油を店舗で使い、廃食用油からBDFを精製し、農業機械等で利用する「アレフナタネプロジェクト」を北海道恵庭市で開始、今年度は市内の小学校児童が種蒔きに参加。さらに、札幌市が企画した市民からの廃食用油回収BDF事業に協力し、店舗を廃食用油回収拠点とする取り組みを他の民間企業との連携でこの10月に開始。

生ゴミリサイクルの流れ



提携農家の農産物が全て「びっくりドンキー」で使用されているわけではありません。

生ごみ処理機
(ゼロワンダー)

